せざること並に農産物に對し 定農業機械や自分等が作つ 変に農業機械の普及化ではなく

生糸の輸出跃況から考へて露 ・いふよりは家ろ價格が下つた ・ために重大化したのである、 で如何なる對策を講ずべきか が露糸問題の核心だといへよ う、これに關しては價額下落に對し の原因となつた、米國の需要 適に對する方策、人絹の胚 か宮水が、一面にはまた我

に於て極端に忌避したのは新 然の理である

原は大戦前は肥沃にして繁盛

北天朝を顧客として輸出せらは米朝を顧客として輸出せられてあるのである、からした

一、一元的經營を目的とする | 料はじめ、年額一億圓の互額 | もので、この外に鐵道建設材

統制を要望

邦における生糸の生産事情に 基く欠陥もあるから、これを と正して品質の改善、生産の 低減等を考ふる事が是非共必。

協調會農村課長

松村勝治郎

工業にせよ、羊毛工業にせ

唯生糸の

る、そして養蠶農家は養輸出商三十を敷ふる有禄

一、現行商事部解体並に獨立

一、六十有餘社に上る大小傍

商事會社新設

素が加重した、即ち極東に來此の農民の窮狀に更に新

目にあった、

九三一年秋以

るる、滿鐵職制改正の主旨は 『滿洲の新事態に順應し日本 機關としての機能を遺憾なく 授揮せしめやう』といふにあ り、去る三月卅日の閉議の决 にたる『日本の對滿經濟政策

第二 全國鐵道の一元的統制 に基く職制の更改 の三點である、以下之等の三 門題に就てその概要を撤述し

定値段で

農民虐待 農産牧獲を自由に處分する權 農産牧獲を自由に處分する權 でるゝことになった 強制的に賣らせる 工業化の聖壇に自ら進む農民

ソ聯邦農村の崩壊

道と云はず花園と云はず又野

其後引續き行はれ肉、牛乳、しむるに至つた、此の制度はしむるに至つた、此の制度は

羊豚牝牛馬 種 別

本、五世、000 本、五世、000 本、六二、000 本、六二、000 本、元二、000 本、元二、000 本、元二、000 本、元二、000

ら夫々意見が提出され、既に 防事部及經濟調査會の合作に 成る商事會社設立案も作成さ れてゐる 如く滿鐵關係會社の設立は前記の 如く滿鐵關係會社の設立は前記の 電三な一三街

就の手で行ふ方が事業に対する異味も熱心も出て対する異味も熱心も出て

第一、從來の商事部の例に見る滿鐵の商費は非能率見る滿鐵の商費は非能率

論も全く無い譯ではなく、反 反

吉川商會

發行所

甲

剧 艦 行

等の は既に対域の 既定方針の である は既に対域の 既定方針の 宜しきをいとの見解から消事會社の は既に対域の 既定方針の つつ 第三、生産と販賣を同一會と現るかどうかし得るかどうか

世に問ふす

上述の通り外聯政府は全農業を関系並集團管理下に置く政策を探つたのであるが遺は全人を関系並集團管理下に置く政策を展示されたが結局過去四人に論議されたが結局過去四人に論議されたが結局過去四人の大型大学の實體は暴露されたが結局過去四人の大型大学の實體は暴露されたが結局過去四人で記費を受養して居ないが思ふに設定が必要が成立を受養して居ないが思ふに設定が必要が成立と質技を受養して居ないが思ふに設定が必要が成立とで記者を受養しているといが思ふに設定しているというという。 第一、滿鐵本社はじめ、昭 第一、滿鐵本社はじめ、昭 和製鋼所、滿鐵化學工業 會社等の新設會社が夫々 販賣會社に統一され」は 組織が大きなだけに、第 一販賣網の機充が期せら れ販賣上に幾多の便宜を 第三、満洲の重要輸出商品生ずる

世を風靡 日米開戰論

のとして米國の一擧手一投足日本の國力發展を邪魔するも日本の國力發展を邪魔するも日本は米國が日本を悉く條約 満洲國顧問ブロ | ける米國の投資額は約一約 | ある一九二九年代迄支那 ンソン、レ 氏談

菊池

日本の對滿方針と

漸鐵職制改正

全面的政策を檢討

。 しまたららりみーと力強く與。 處、要人は「權益保護の爲め。 政府時代の某要人になしたる へた事を追憶する大第だが、

による満鏡の用度品購入を取 接はし めやう といふ ことが 考慮されてゐる、その資本金 よれば、二千萬圓と稱され、 全株を満鐡で出資するか、そ であるが、今度昭和製鋼所、部をして取扱はしめて来たの部をして取扱はしめて来たののであるが、今度昭和製鋼所、 密接に結びつけるために製品れ共製品販賣兩會社の關係を 元來補鐵事業の重要部門たる機である 部を持たしめることになる。 此の事は事實がよく證明して をユニテリアンや加特利の人 をは如何に銀行界に實業界に 重きをなし又自身に力量のあ る人でも先づ不合格であつた を言ふも支那に布数され居る を言ふも支那に布数され居る を言ふも支那に布数され居る を言いるを明に布数され居る

正副總裁の大連歸任後本格的 正副總裁の大連歸任後本格的 は『蔣鐵自體による蔣鐵側で は『蔣鐵自體による蔣鐵の内 の改組案とは全く別個の意思 の下に遂行せんとするもので あるとの意を言外に匂はして あるとの意を言外に匂はして

本権頭し當時既に關係個所か ・ 本権頭し當時既に關係個所か ・ 本権頭し當時既に關係個所か ・ 本権頭し當時既に關係個所か ・ 本権頭し當時既に關係個所か 地位に置かれた、之は事實で地位に置かれた、之は事實で地位に置かれた、之は事實で

生糸生産には農業から商業に 至る全産業部門が關與してゐる、故に有機的にこれを統制 せざる限り今回の如き生糸恐 世だに處する事は至難である、 人、我邦の生糸生産機構の現 月、製糸工場は三千有餘、生

新京日日 新京日日 新 京 日 日 新 町 植

米國は傳道事業や石油営業を 意時米國傳道事業と職はなかつたのである 言時米國傳道事業關係者の政 所に對する要求は米國に對す る支那の敵慨心を摘發せざる ことであつた、過去に於て支 那が危機に瀕する毎に米國政 第二義的のものとしか考へな

Ø

信夫淳平

外法權撤廢 貫せる現地意見を確立 は

し中央に對して將來の絕對的な指針を與へ得なと同時に實を現實に則して檢討せる結果一貫せる現地意見を確立避認なく披瀝して對滿政策再認識の基礎となるべき諸事に終了したが本會議を通じての最大の收獲は現地事情を 方溯洲國に對し日本の賃意の奈邊にあるかを確知せし 亘り駐滿大使館會議室に開か

は今日の日満合作は兩國の發展の爲め絕對必要でありは今日の日満不可分の關係から見て政治、産業、交通凡益の放棄として反對論を唱へる向もあるが、現地として疑論を唱へる向もあるが、現地として経の放棄として反對論を唱へる向もあるが、現地として 更に具体的な例を示せば當面の重大案件たる治外法權撤め少なからず信賴の念を與へ得たことである 従つて本問題は飽く迄大乗的見地に立つて解决すべきで

一、治外法權撤廢は滿洲國の司法制度改善が日滿合作

屬地そのものとしては擴大伸張を意味す 政權の自然的解消であり權益の放棄ではなく寧ろ附、附屬地行政權返還は客觀的狀況に順應して起る行

後の處置と對策の質問ありする特別委員會の經過並に

園公首相官邸訪問

重

れた上、中央に於ける外務、陸軍、拓務その他關係當局遣の柳井正細正第三課長の手によつて近日本省に報告さ大の收獲を納めたが本會議に於ける結果は何れも本省派大の收獲を納めたが本會議に於ける結果は何れも本省派大の收獲を納めたが本會議に於ける結果は何れも本省派大の收獲を納めたが本會議に於ける結果は何れも本省派にされた、續いて課税問題、警察問題、教育衛生問題、 く政治的大勢に善處すべきが至當なる趣旨の動向が明かと意見一致し此の際日本は法律的概念論に捉はれる事なせるとき發展的解消を斷行すべしの諸般の制度及ひその運用につき日滿兩者の步調合致 本内相の兩長老閣僚は首相の 本内相の兩長老閣僚は首相の 本内相の兩長老閣僚は首相を訪 を 本内相の兩長老閣僚は首相を訪 公は首相に對し上京の挨拶並招きにより参邸列席、先づ園

中央に指針を與 故に現在の附屬地内に日本側と附屬地外の滿洲國側と

更に各閣僚と挨拶を交したる問を受けた答禮の挨拶を述べに過般興津坐漁莊に首相の訪

度滿

國豫算

ロッ外交常道化

互讓的

ス使館ダヴイッドレー氏は十一日午後二時十分着南部線列車で來哈、直ちにフランス領車で來哈、直ちにフランス領事館に入つたが、北滿の經濟

視察のため 館員着哈 駐支佛公使

楠州國明年度の豫算は主計處

いて既に第一次の

北滿經濟狀態

政治問題

日

北鐵交渉の態度も明瞭に看取

東亜の平和確立か

日

領漁區入札並にルーブル換算

然的で今後の日ッ外交の進展 は日支外交のそれと同時に東

有すること」ならう

ソ聯満洲

要求を入れ

牡丹江クロス問題圓滿解决

ボックを削するものとして期 を期し兩國々交の親善に一エを期し兩國々交の親善に一エ

ちで辭去した

滿洲國辭令

白井金右衛門

兼任稅捐局屬官(委任一等)天野 治安

稅務監督署屬官

面坡税捐局勤務を命ず

財政部理財司勤務を命ず任財政部屬官(委任一等

(委任一等)

稅務監督署屬官

待されてゐた廣田外相とレ

見後齋藤首相は語る 首相語る

從つて編成したためか總要求部、暑とも政府の緊縮万針に ||査定||を終り目下整理

兩國親善にエポックを劃さん レーサム外相は 満足氣な面持 四十五分意義深き 會見を了し 國幣三圓二角O分 産金買上價格一瓦二付 產金買上價格

意見の交換を遂ぐ

の點から考慮して本年度の現 に削減するものとみられてゐ る一方朗年度の歳入は農村の 不況で多少の影響はまぬかれ 不正器物の排除 に著々其の歩を

政部理財司勤務を命ず 所に使用器物を提出せし、日時を指定して一定の を提出せしめ と不正行為の

任財政部屬官(委任二等)財 作下 重美 等)國務院總務 任國務院總務職

感想と云つても全部が思ひ出

三、政府の支拂ふ損失補償金 ない で二百萬圓 總額は融資

(外岡系を含む)が院令の(外岡系を含む)が院令の

豊區域内にて建築をたし又

は會社にして

及二十ヶ年

建設助成融資損失補償法公布

二、右契約の間 償金交付期間は夫々五ケ年

銀行又は會社に對し右損失を受くる時はその を補償する契

右契約をなしたる銀行又

附した補償金の全部若しく相償をなさず、又は既に交補償をなさず、又は既に交付の上損失の全部又は一部に付

審查會官制

補償の當否及ひ補償金額を補償の當否及ひ補償金額を

不足額は は あつても明年度後算はあつても明年度後にま 明税收入の自然増を待つ 査を行ふ ー萬圓か

善吉林大路D級テルフオード

商業

學

较

電正

干後時代於

六 _

奋

日曜。

祭日

義和屯同〈阿〉三、九四〇圓

こより新税を課こより新税を課 一、器物若くは營業に関する 計量せられた量目の正否

部下と共に今日母國を踏むこ祭勃發と同時に始めから來た

to

根耳替及軒樋修繕工事(鐵桶)

自動式火災報知機

盗難

自

式

消

賣

店約

會

六八〇圓一

往宅

診診

午前十時

一午後二時子

但少急患八此人限リニアラズ午後二時ョリ

多い事ばか

二一、一七八圓一京城土木

あるらしい

不正器具

、取締る

權度

局度量

||增稅||

制方策 丸印に毎年其年の下位の數字に於て合格した度量衡器には 右三様に區分して度量衡制度 査済印を附する事になつてあ リの三種の ら今日の平和になり王道の光常つたから昨年の混亂時代か 事は誠に申譯けがない、日本とだが多くの死傷者を出した とだが多くの死傷者を出した に行つたら慰靈祭を行び英霞

儒

所に輝く 王道の光隨

んのお宅で、

室町二丁目

五五

した▼面喰つたのは花む

かに近頃ない

「チチハル関通」上海、満州 ○ 関長語る を樹てた畑本部隊銭留部隊平として馬占山攻撃、蘇炳文撲 兩事變に亘つて終始○部隊長 凱旋の平賀 次凱旋部隊 畑O團第二

チチ

(日

なの要求を承認しころに同クロ た、因に之は日本商品の進出 中た の要求を承認しころに同クロ た、因にとは日本商品の進出 と 大る十一日ソ聯側は右牡丹江 なる見込みで七年度の千五百 七 大る十一日ソ聯側は右牡丹江 なる見込みで七年度の千五百 七 大る大価が震を醸してゐたが けば約二千萬圓の受取超過と せる ス問題は満ソ兩國側に於いて なり經常、臨時兩收支を差引 巻 ス問題は満ソ兩國側に於いて なり経常、臨時兩收支を差引 巻 ストラー・

北鐵第三次中間會商

ス問題は解决するに至った

と之に件ふ海運界の好轉に

サム豪洲外相との會見は感よ 十二日行はれた、この日午前 十時レーサム外相は官邸に廣 田外相を訪問、待受けた廣田 外相の出迎へを受け兩外相は たづ固き握手を交し兩國の通

黄郛氏夫人同伴

保其他國家軍要諮問題に就て発力の大力の場所を始め太平洋の平和問題を中心とする兩國の政治關

濱江稅務監督署勤務を命ず任稅務監督署屬官〈委任二等〉

間島輯私局勤務を命ず 任吉黑確運署屬官(委任三等)

通夫

日開催

六

【東京國通】北鐵交渉に關したが第三次中間會商で滿知の 以家に基き實質的討議を試み 以家に基き實質的討議を試み に於ける第二次中間會商で滿知 以家に基き實質的討議を試み たが第三次中間會商は來る十 たが第三次中間會商は來る十 たが第三次中間會商は來る十

カ會社の外債買入れも多かつ では海外投資、特に滿洲國投では海外投資、特に滿洲國投では海外投資、特に滿洲國投では海運收入等が

國都建設促進

の爲

【杭州十二日發國通】浙江莫

意見の交換を行ひ午前十一時前後約二時間に亘り隔意なき

熱河專賣署勤務を命ず熱河專賣署技士(委任一等)

赴く事に決定した

諸會社

融。損失を補

要収 超過 「東京関通」昭和八年度の質 易外收支の狀況については大 を設置が のでは大 を表する。 では大 のでは大 のでは大 のでは大 のでは大

れたが長岡代表及ひ六省次官 日午後三時半外務省に開催さ 日午後三時半外務省に開催さ

かし砂糖の消費税、輸入税にから砂糖の消費税、輸入税に対しては拓務省側が豪機

める目

事業の進行をスムースなら

院令を以て同施行令を制定す ・ に同審査會官制を公布し份 ・ 立に同審査會官制を公布し份 ・ 並に同審査會官制を公布し份

・計画骨こして國都建設の大満洲國政府では資金の融通を

外收支概算

日蘭會商の

外務省訓令案大綱を决定

六省協議會の結果

F

曜

其の快速を設めけ馬占山 二次凱旋部隊〇團司令部發 ハル國通」畑〇團の □討伐を始めとして で利用して赫々たる で大宍戸部隊の主力 下前八時二十分及同 大宍戸部隊の主力 で対映地よりチチハル ハル出發

旋の途についた 密偵多數潜

國に於ては日本軍の交代移動

があつたわけではない、公請 した事は別段これといふ意味 した事は別段これといふ意味 今後の對策としては成行に對 らぬ旨の答辯あつて護案審議 に移つた 事長より特別委員會の存績と されている。 されている。 されている。 されている。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 でいる。 でい。 でいる。 からで、從つて ーしよに會ひ度 一しよに會ひ度 か大臓大臣のしかえて丈夫に 定はない、鈴木 言ふ様な話に終 には全然觸れず て自分から公は 政治上の問題 車が最近二貫 淵京期間

で今の所左様なことは考へてらぬが、そんな材料がないのらぬが、そんな材料がないの

満洲を無暗に 宣傳する が が が が が 、 を 飛ひ出 ベン と鐘や太鼓で

マの 第三十分 20 日本の 1 日本の 1

滿鐵社員會

盟頃の新京 公もぞの一

評議員會開催

八並司法次官

サテ新京に來 ものである

ルン

宣傳した為だる 知宣傳した為だる 知られてヒョロヒョ して來る者が悪して來る者が悪して來る者が思いる 一半は難

ずとも有望な仕事が到る處に だ、一攫千金の口までと行か だ、一攫千金の口までと行か だ、一攫千金の口までと行か

爲め政局に破綻を來す様なこ 紀問題に就ては小山法相から 確かなことは云へぬが、このハッキリした報告がないから 辯した事

たりもあきれるばかりた。 なは飢を待つばかりである、 満洲三界にまで來て純死する のは情ない、何んとか老慮し のは情ない、何んとか老慮し めきれるばかりだ

停戦地區の射撃は

陸軍改正軍刀

附屬品一式 警服

達用御廳官諸

角路馬五西路經大

番〇八八三話電

御用命は是非!!

薊縣の保安隊

=關東軍司令部發表=

標當局の深甚なる注意を促す の資体をよく内地人に紹介し

局に當つてゐるのだから速急ない、自分が責任を以て其の に決する必要もあるまい、網 並養的鑑説を掲げてゐるもの さへあるが右に關し關東軍常 局は本日左の如く正式に發表

五月五日けい縣に於て我大

運輸狀况

滿洲國文官 けい縣保安隊(徐廣林) 不法射擊 不法射撃を爲したる部隊に對 十一日より卅日迄の運輸狀况 一日より卅日迄の運輸 計図通 市内某所の調査

滿洲國文官の給與改正の骨子 會議上程

製一

造手

販賣

F

は既に出

する法律案を法制局で

▲新發屯調整池ポンプ所從事

九二八圓九二一東洋コ

. . . .

、電話交換機 新京日本橋通七三 、電話機 新京日本橋通七三 、電話で換機 新京日本橋通七三 營 業 課 目 新京電話工業株式會社 電話四九八一…三七三二番



女優さん

の花見

軍政部の委嘱で日

まづけふは西の数々で

會、家族會で坊ちやんも嬢ち 池のはた……思ひ思ひの野遊 池のはた……思ひ思ひの野遊

で約三百名▲同日現業組合 との道會懇親會夕陽丘西端 との道會懇親會夕陽丘西端

比島は賛

日文後三時から行はれた 大泳選手練習の最後記録會は 大泳選手練習の最後記錄會は

室町小學校では來る十七日は 開校記念日、十八日は秩父宮 開校記念日に當るので、こ れ等の記念日をかねて十八日 午前中、春季運動會を擧行す

日本水泳選手の

支那依然强硬

結果は左の如し

五十米 高橋 二六秒四

小學校において盛大なる第一 一日午後六時牛特別市立第一 一日午後六時牛特別市立第一

滿洲國問題不安定

題は極東大會閉會を目前であるが、ニッ十一日酸國通〕満洲に控へ頗る

関し比島体育

二百米

☆ 遊佐 米 遊佐

な西公園の花に見とれてゐるところです

きのふ西公園にて

六

本のうちで二、三日前から四 四寸程の若木、十本ばかりの 四寸程の若木、十本ばかりの でででででででありませた朝鮮櫻で関り

る西公園へ

開きは十四日左の通り擧行さ既報、西公園の本年度ボート

十一時から

極めて大切にして

ト開き

新京驛主催乳家店!

ものではなく全會一致を多 を規定して居り、満洲國は 日本以外に何處からも認め られてないからこれを加へ られてないからこれを加へ

ことに决定した

室町校運動會

八日に開催

けさ出

發する

上高級一年まで公主領に、一 年生は西公園に、二年生は杏 年中は西公園に、二年生は杏

公學校の遠足

花見團 郭家店

野遊會などの催し

城內出張所庶務係員約百

被式

午前十一時

て今年咲き出した、この珍花

五輪咲き初めた、蕾もまだ多くついてあるから暖氣とゝもに蕾も膨らみゆき、新京市民は と であらう、場所は と 上 競技場下であるが市民はこの際自軍して、愛撫して欲しいと公園事務所でも何しる新京では初櫻だといふので

東側で十一時から三時まで 利四百名九時から五時まで 料陸會約五十名西あづま屋 親睦會約五十名西あづま屋

一般開放

後一時より午

満洲國参加反對は何等變る 依然强硬論を述べて曰く 依然强硬論を述べて曰く

三、同十一時||正午、講堂で 總會なほ總會では八年度决算 審議役員改選あり、上原校長 から教育方針その他について お話があるはず

四公園にほつ

ヴ

一、同十時二

——十一時、擔任

十分死亡

騒ぎの本間氏宅

なかつた

動務の李永氏が就任した

して元新京警察署巡 食高等係下缺員中のところ 理事代理と教京朝鮮人居留民會理事は目

理就任

新京第二次

寫 眞 || 住左住 ……カメ **中度の志士エ、エム、エム、** 即度の志士エ、エム、エム、 に有難ふご座いました、パよく書いて頂きまして本當 今秋新京で舉式か

本娘か欲しがりそうである、ところで側にゐた本間夫人がところで側にゐた本間夫人が いかにも朗かな爆笑だ、同じ度はわたしの番ですね…… 目出たになりましたから今 ンと話があるんですよ東京 第學校五年生もこの競技會に 業學校五年生もこの競技會に 業學校五年生もこの競技會に が春祭 商業五年生が

いのです

新

へに記念として保存しておいと思ひます、あとの三部は私たちバルスラム家に永 は私たちバルスラム家に永 と本紙五部ばかりを手にし

訪ねると のが待ち遠しくて待ち遠し

物、早朝より保津教験外数名を實行して居るが、生徒は頗を實行して居るが、生徒は頗る熱心で、ここ二年來二等賞すると云ふ意氣込みで、照明に背景に配置に汗みどろになつて實習をやつて居る、尚飾り付けは十三日夜までに終了

試みで、そ ろは談話を

創國 一、久保田祐子 開會の辭五、小松美代

て七

故里の思ひ出

九八

支那の國際

當日の出演者及題目は左の通

謝清蓮

授する、記者よりないろい 頭をかしげて「どうもいろっにおさまつた牧野嬢は心

店頭競

なか

熱心揃ひ

方面に旅行して春の一十二日は四年生以下 を 日の出、柳屋の

て明朗なる品性の陶冶をなす

奥越の争三、

平澤三四子 城川美津子

一〇、或を日

お釋迦さま一、西村久子

一、象の話

、本間友子

の結婚式は今年の秋口に新なつてゐるとのことで晴れいづれ式を擧げるばかりにいずれ式を擧げるばかりに

|一顧客||をそっちのけに 出ましたか!でましたか? 紙に目をやってる こしはど新聞が氣になつたらしく あはた だしく 質問し た、こ れとうはさの中に朗かにその注 日の來るを待ちながら準備にいそしんでゐる

日本娘で結婚? 競馬 六日から

に終了した事は旣報の通りでのガラもある事とて好成績裡のガラもある事とて好成績裡の を手第 開催する事になつた、其日取六日から更に第二大の競馬を大日から更に第二大の競馬を りは左の通りであ

ニュニコ微笑むのみで答へわけだが、當のナイル氏はわけだが、當のナイル氏はわけだが、 二十八日、六月二日三日、二十七日、

話

女性のたしなみ

あすお午から新京高女で

談話會の新試み

するとともに行内に監禁し行 ろ黒龍江省青岡縣満洲中央銀行分行に拳銃所持の八名組の 正馬賊が押入り、行員を脅迫

匪賊の片割 新京に潜伏の形跡 超子和こと趙順(三九)外五名
(三九)同財務局長王柴揚(三人)同新京騎兵第四旅の排長
入)同新京騎兵第四旅の排長

今日このごろの新京署保安係 は設論顕の洪水、係員は血限 になつてゐるが設論顯は一日 八件平均で、十二日は十件を 超へ關係者は朝から續々詰め かけ係官の前で大對論が始ま つたがこれ等はいづれも家屋 明渡問題、工賃不拂問題であ 日平 エと共謀し現金一萬圏と五千佐田茂雄 (三九)は情婦トモ 佐田茂雄(三九)は情婦トモ長野縣松本市女羽重町大工職 萬五千 失敬して逃走 新京で取押へ手配

短評學藝部長

五、塚本八靈

集まる視

民聯合總會

スで

會を來る廿一日から三日間大和ホテルにおいて開催の豫定である、なほ朝鮮人居留民會は全滿に九十四ヶ所あり、同は全滿に九十四ヶ所あり、同意會を譲想されてゐる

走したる處を突止た松本署かる八日松本驛を渡し新京に逃る八日松本驛を渡し新京に逃 配があった が を山分しそ が を山分しそが が で に 形跡

兒童運動競技會

四

均八件

来る十三日午前九時より四平 前上のため大同電氣株式會 が主催四兆新聞社後援の下に である。 市政公署さん

ズボラのこと

糞屎、塵芥取りに不勉强

作ることを奨励した結果、最ず各戸に便所を設け廉芥箱をするとを奨励した結果、最 警察廳から注意

米 杉本

文は數戶で設けてゐるものもだんだんあるが市が衛生費をだんだんあるが市が衛生費を 微收しながら糞便や廛亦を取 り除かないので、首都警察に 對して苦情を申し出るものが 多く首都警察では折角市民が かゝる衛生設備の氣運に向つ 近は便所を造り塵芥箱を一戸 一分一○秒八で世界記録を作つた 背泳(百米)河津 四百米 孟家屯

二分四

電に対してこれが取除きに充 分の手配をされるやうこの事 情を通知した

十二日夜新京會館で開催された模範ダンス公演に出演の滿 深員島田多米司、同協會佐藤 和子の諸氏は同協會大連本部 のため本社に来訪した 挨拶に來社 本学 井戸枯渇し住民は飲料水にも 井戸枯渇し住民は飲料水にも 京鐡道事務所では取敢えず十 二日水槽車で飲料水を配給し たが、十三日より毎日給水列 大

集ひ 日出を拜する

等合時間正四時、早起會は四 等合時間正四時、早起會は四 は一年の日出は午前四時十七分

保護者の總會室町校あす

▲平安町二丁目一番地ノ一白 ノ四村上緑郎氏長男康僚さ 日出生 ▲室町四丁目十二番地木村方

水饑饉 給水列車運轉

▲丹生武生氏 中央通り二十

康彦さん二日出生

六番地から三丁目二十四番地 ▲多澤重明氏 初衣町二丁目 01~ 十五號ノ四へ

洞 門 別

▲ 私表町一丁目二番地ノ二十 九安宅務(次女都子さん二 十三日出人) ▲老松町九番地橋本濟氏次男

協會某有力者は左の如く語つ

學校通信

うが比島は既に<u>赞</u>意を表し 出規約改正を提出するだら

洲國参加問題について日本定例會議の重要問題たる滿

| ■ 立断喜左衛門氏 錦町二丁 | 番地・二へ ▲山崎政治郎氏 吉野町三丁目七 11

▲森昇之助氏 山吹町二番地から敷島通り敷島寮へから敷島通り敷島寮へ 五十九番地から朝日通り八五十一番地中村商會へ

品定指御省官諸 水性塗料の權威

店理代 洋信大 五二·ハot=話電

理想的立體塗料 蒟 蒻,

日本 造販賣合資會社希望者は本人來談あれ 富士町二丁自八番地 富士町二丁自八番地 電話三二五六番

B 開店紀念 A 舍 五四 六五四三四日日日 900 五日 奉任品 帯より Po 御間子様に相名進皇及に 專化小 門脏間 佔品物 北京 京 一面 香丁屋 酒 0110 屋

一四、讀書の樂しみ 一四、引地綾子 三、林希美 橋本靜枝 連動場に於て開催する事になった常日は日曜のことゝて日 W が人交歌に賑ふことゝ期待されて居る つた當日は日曜のことゝて日一度く社會に確進した。 選動場に於て開催する事になっている洗鴨な日語を得て目出得兄童運動競技會を公園西隣。卒業生は男十一名女四名でい 竹林畫伯揮毫

居住消息

造荷

一般荷造

量超

专 Pol

便利低無

日本宝壇の雄闘雪門下の秀才として且印度支那薬古等奥地名ある竹林愛作雲伯が今回滿名ある竹林愛作雲伯が今回滿名が一ヶ月間高地植半旅館に滞在のうへ斯道愛好者の希望に依り揮毫する由 希望者は松屋玉木氏宛申込 本成島甚之助氏(天城縣)室 一丁目八番地ノー井手方へ 一丁目八番地ノー井手方へ 一丁目八番地ノー井手方へ 一丁目八番地ノー井手方へ 一丁目八番地ノー井手方へ 一丁目八番地ノー井手方へ 一丁目八番地子ー 一丁目八番地子ー 一丁目二 一十番地稻木方へ 一番地稻木方へ

☆一年野秀雄氏(熊木縣)港家で入間大吉氏(栃木縣)港家で入間大吉氏(栃木縣)港家で大大郎へ

午前中

| 本宮川正活氏 錦町三丁目二十一番地から羽衣町三丁目

祭日

▲乾次郎氏 錦町四丁目五番 地から新發屯與安胡同五百 十七番地中央銀行中明公寓

每: 自午前九時 日 至午後九時

最話二九五六

新楽貨事務所 目拔の場所@設備完全 希望者来談 前通十七 を記者来談 前通十七

年齢廿歳より卅四、五歳位迄至急募集固定給付優遇す希望 新京驛地下室食堂

女給仕人募集 長崎屋洗布所

外交員 藤井 革夫 を書店ト關係無之候 水交員 藤井 革夫 雇 廣

信和洋汀運搬部 管部NTBI BI

海報 参上

荷受祭送车统

村 次

一、店舗或は N 務所何れにも適す 一、一覧中式部屋玉、外に洋式應接間一 一、家賃其他商談 一、家賃其他商談 一、家賃其他商談 一、家賃其他商談 再見の上第方より御相談申上ます 野田和九年五月十三日 郞

貸



邸

務用品

新京吉町銀座街

ミツ

ワ書店

電話二三二一番

田

審管の安因の手で一同もつそやがて負債時の概念が持つて、 がくばられた。

中へ展しに立上つてゆくといい 中へ見しに立上つてゆくといお定が食べ終った食器を強ひ組 てそばへやって来た宇名主の女人 の取片的けをぶれて、どやく 書がれて、どやく 書がれて、どやく 書がれ

変のお命が大陸を対上げて、 変のお命が大陸を対上げて、 んが死んで居なさる」 「あゝ比處にも新入りのお定さ するとお高の

搬 越 荷 造

滿洲運輸

家

庭

向

0

.

新京支店

新京三笠町四丁目 電話二六二七番

金金

洲

庵

分

新京朝日通七一番地

鹭話三四

九四番店

新築ー御氣持よる御座敷

そして御氣軽な

親切叮嚀

△御一報次第

御伺ひ致します▽

□出前迅速□

●純東京にぎり+

陳室家

列內具

設裝建

備飾具

設計製作

樂道食

北陸名産なめこ料理

別位に吹みなされ」 た臓り側の女仏の限を掠めて、れに割つけながらお記は数へら 等現に、慶をつぶしたのである。 は耳に入れて居たのではあるが、 けた女人は一高らかにわめ 日の隠骸の後でいった言

と怒鳴つて輪を造つて居る女に

新京神 京神

春季大祭

新京東 | 條通消防廠横

朝鮮軍經理部賞伏受領帝國發明協會有功賞受領管國發明協會在時受領 蒙各界御指定御採用 宮崎組新京出

針

金電工用具

土地金物商會新支店

本店

電話長三〇〇七番地大 連 榮 町 二番 二番 二番

土工用、諸金物、洋釘

サービス振りを御覽下さい美人 揃ひの ウエータ 連の

カフェーラ

朗らかなホー

新京八島班老松町へダイ

科內 耳 花 皮 肛門 鼻 病 科 咽 醫 病 入院隨意 病 喉 科 科

三

井

AND DESCRIPTION OF STATE OF ST

材

▲原 木

建築諸金物、浪平板 茶 東 市内各食料雑貨店にあり 園 新京蓬萊町《中央閩新京日報社西談》 製 紅 包括三八八一管



特約店

電話は三九三番

花環専門の花環商會の

(日)

もお高を信ずる

さんちゃない。 脚床を先に片いてとちゃない。 脚床を先に片いれ

治療受付

正午より午後三時まで

魚 約 道 B 野 球"道 具

ト各種ボール

多數新荷着運動用服裝類

庭球用品

八の 立動きがあつて、お定も 風水

た大勝の女内達は、又も其方へた大勝の女内達は、又も其方へ

新京の草分

食道樂

大学町に丁田

外交販賣員一名入

ミス新京祝町五

電話四日

番東十 **月** 次入四

V

の好時期

~と集まつていった。

との朝お高とお宅の二人が興味 の中で冷たくなつて居る姿を設見 の中で冷たくなつて居る姿を設見

すると、その際に順じて、町 すると、その際に順じて、町

隨時往診の需に應ず

堂脇サト

荷

高のそばで怒鳴り立てた。

女に名主は沿たくなつて居る

兒

科古林堂醫院

兼 用 書店

外の単を突っついたやうな論ぎ

世を見せて貰つて急に切支外信者

そんなに命令を下

ず、お高の死に、顔をのぞき込 でしたにからは をんなに配合を下したにからは

食料品と

貨の御用命は!!

Q

Q

飛行式は

電話 三二五

市場內

日華洋行へ

青果委託賣買

たのは、昨日お高の健心師で天

ちお定は数へられた方法で態を飲い はつて來ると、マリヤを記しなが いまなが

八八八八番 (新京百貨店廣入)









9 高級事 電話二一六五番 初京口本橋通

隨員正

式競表さる

に於けるソ聯從薬員は積極的【ハルビン國通】北鐵西部線

非常委員會組織

西部線沿線

企業調査の ため來京 0

復今回對滿企業會社からの派 遺員ラモール氏は實情調査の 造員ラモール氏は實情調査の

海成發表

来唯一の北鮮

基の既開港も

午後三時左の如く公表し東京國通」陸軍省は十二

式 部 官 アジア局長 アジア局長 武井守成男 秦島 主計 秦島 主計

式 部 官 皇族附武官 皇族附武官

| 宮内省發表秩文 | 宮内事務官 | 歩兵大佐

記工場敷地として豐富な平地 **な役割を受持つに至り大連に** 完成とで工業地費として重要 と水の便を有し安價な動力が は日ソ関係の急を告げたる場合に戦闘的行動を開始すべき 下準備を爲す機闘で西部線を四區に分ち、從業員に對し連 本るプリントを毎週一回發行 して訓練して居る、一方沿線 を開始した 片岡直溫氏

【京都國通】元大廠大臣片岡

危篤に陷る

で彼を、外へ連れ聞きうとした。

ておまへはマア、なんといふ物ろ

腰である。

ひどい概様である。明かに嘘感

てみる気持は無い。彼は只、殿つだが他一には、それ以上、野つ

押り扱けて行からとした。

千瀬子夫人も、ブル (離をふ

得られるばかりでなく京岡線 の開通によつて北浦大豆が北 の開通によつて北浦大豆が北 が建輸系統が整備されて居る の運輸系統が整備されて居る るが、右非常委員會たるもの委員會を設け種々策励して居

新工業が煙をあげる筈で同地 一帶の前途は頗る多幸親され て居る

期待される朝鮮最初

から

清津は隣接する廣 群商港として重視 を基本のたが從 の新工業

中であつたが十二日午後危篤直温氏は蓄膿症の手術後療養

満洲の國勢を知る に陷つた

御裁可を仰いだ上競令された

所要部隊の交代として第一、 各々一部隊を編成、派遣せら支那駐屯軍司令官隷下部隊中 第四、第三、第十二師團より

關東軍の編成改革

聚落調査進む その成果期待さる

すを、強く振り

ことは、いかにも残念でならない

彼としては、とのま、逃がするそして更に他一に迫つて行つた

んとも話はなかつた。

しかし他一は累知らぬ振で、な

形だは、棚手の網館を取って、

「宜いから、離して呉れー」

茂彦は、

父の目の前に、飛起の

設備をする上においても不都 勢を知ることは勿論、各種の もつては政治の基礎をなす國 處では最少單位の部落を調査合な點が多いので國務院統計 て昨秋末以來全國百七十二縣して完全な數を得ることゝし 日は市内各方面を見趣、十八日時部は各方面を投影廻り同日午後三時から講演會を開き率天際大教授三浦博士、東大教授、加茂博士が一般のため講演することになつてゐるが、また、なほ一行は同日の場合を表し、 森子爵令息

懲役二年求刑

の控訴公判で岩淵檢事図通)森俊成子の長男

し、縣はこれを區、村

二年を求刑した 責任免かれずと前審通り懲役は轉向を認むるも華族として

收容されん

(東京閾通)小山法相を告設 した背後の人たる長島隆二の した背後の人たる長島隆二の でを受けたが偽證行為は明白 となり十四日市ケ谷刑務所に となり十四日市ケ谷刑務所に

往來 てしまふと思った。同時に、夫人 といで映けを取つては他一に動し一ヤクシャ間である、糖飲の容赦は

「飛起さん、お腹も立つでせらが とうぞ――とうぞ、酷してやつて とうで、 かままか 激れだ、といふやうな気性みも手で の見て居る前もあるので、おめお る問題の背を、ガーばい、強く突

出してしまひたいくらねだつた。 をれを、辛うじて踏みとらへると、茂彦の楽しい趣味が、又ぞるに、茂彦の楽しい趣味が、又ぞるのをしています。 がいかい アンドラ かっといった かっといった かっといった かっという からし からい から という からい からい かっという かっとい かっという たく、うしろへ引つくり返るととはづみを喰つて伸一もろとも、 ろであつた。 辛うじて踏みとらへる

時に、その整物は、形容を目がけ 彼は手を伸ばして、それを振みあ

の手が雨に迷った。彼はもうムシモの茂寒が州魔になって、飛客 見るや、 「わッ!」と悲鳴をあげて、突然 販賣所 貸家 ▼御用命大第 親町三丁目〈鮮銀漬〉 電話四八二六番 御組け致します

一、店舗政は事務所何れにも適す 一、店舗政は事務所何れにも適す 一、店舗政は事務所何れにも適す 一、店舗政は事務所何れにも適す 一、店舗政は事務所何れにも適す 一、店舗政は事務所何れにも適す

次 郞

雇廣告

村

也



(日)日 製廠 建本 全也 服 施 谷松十一路本二

至るものと觀られてゐる二日外務省に通告したので、 北鐵三次 ソ聯側の互譲的態度期待 氣呵成解決せ カっ 實情調査中 我總領事館

ソ聯代表部は北鐵交渉第三次會商の日取協議を十四日爲す旨十 十四日協議の上多分十五日頃會商續開の運びに

壓重監視 ライヒマン博士報告書印刷) -

挑日活動詳述は確賞

を中だが、十一日 **我**總領事館 を中だが、十一日 **我**總領事館 を中だが、十一日 **我**總領事館

日發

御裁可を仰ぐ

地へ我移民を

に参内、

施される豫定である

奏御裁可を仰がれた、

(東京國通)開院參謀總長宮殿下には十二日午後二時宮中

六月一日より實施の豫定

天皇陛下に拜謁仰付けられ、

關東軍

の一部平

時常態復歸に伴ふ關東軍司令部の編成改革につき 委曲上

右編成改革は來る 六月一

日より實

扱つた部分の外に専ら合作の 活動を詳述した附屬文書 れた如く技術問題を取 西南派和戦兩様の構へ 央軍局下に 布報告書には過般 知らしめず印刷に當つては特めて少数な関係者以外これをしてゐる、全國經濟委員會としてゐる、全國經濟委員會 酸戒振りである 使用紙の刷りくず 事覆ふべくもなく既に孫、李 事覆ふべくもなく既に孫、李 中央の關係上外敵防禦の爲め 東に乘込みつゝあり、又三省内の陸海軍領袖等は織績々廣

間するに陳濟棠は本會議に 一、空軍擴張 一、空軍擴張 |標榜||文、陳儀にも召 三、省内の保安隊を保安師 新京室町尋常小學校訓導に任 茨城縣公立小學校訓導

る を闘る筈である。

聞

氏が西南派の勢力を恐れて

【南京十二日發國通】蔣介石

Ŧ.

六

事がモスクワ政府の知るとこ覧現を期せんとする野望あるれ第四インターナショナルの

亡命中のトロ

となった爲といはれて居る

宣した、同氏は数日滞京の発 定である

日本品の進出余地

充分にある。

労銀の低い と考へる、

資源の體富さと

を登が明確になると同時に 治安維持の根本が確立され るのではないかと思ふ、課 我の現状を見るに却つて中 でではないかと思ふ、課

りどん々々進出すべきものだまだ日本商進出の餘地あ

記法の制定が最も急務であ

▲ 奎福氏(宮內府警衛科長)

視察を終へ濱野東京府議語る

らが日本内地の産業との調 を業の進出は多望であり今 産業の進出は多望であり今

午後外交部を訪問謝大臣と而者セスコ、トマセリ氏は同日者セスコ、トマセリ氏は同日

御道筋の舗装工事

大急ぎではじまる

高いである。 東京行育 東京行育 東京行育 東京行育 東京行育 東京行育 東京行育 東京行育 東京行育 東京行 東京行 東京の 大地を廻り

帯吉氏一行六名はハルビンよつつある、東京府會議員選野

は如何に求めるか異滿洲の商品は如何に求めるか異滿洲の商品は如何にすれば日本に於て合理的に消費されるかといふ事を主限として大連へルピンはロシャ商を選出の販賣が行はれて日本製品の販賣が行はれて日本製品の販賣が行はれているを等の一例を見てもま

事と思ふ、となかと最も重せ、

商一行は明十三日午後一時率 りはしないか、殊に王道政 りはしないか、殊に王道政 治を標榜する満洲國として は最も考ふべき處と思ふ は最も考ふべき處と思ふ

本衛生工業視察園二十五名十 三日午後四時來京太陽ホテル投宿十四日午前八時三十 分發哈市へ 本東京市参事會員七名十三日 年後十時三十分發南下 作用的業生二十六名十三日 年前十一時三十分發南下 年前十三日十分發南下

茂むが、

その時、父の膝に抱かれてゐた

ん!」と言って、恐ろしさうに欠

形蔵のけんまくが一一は、サッサと出てしまった。

をか、その駅の中に満ちてゐる。 とりは、は、日本し、円ならぬ気

死をは、つとめて冷骸にします」

(-)

迫つた今日近藤組神谷組が特命の階負ひで通行止めまずる各道路はアスファルト舗装工事が始められ、日時はに同街一帶及四國の朝日通八島通並ひに大同大街に民秩父特使宮殿下の御來京を控へ、新京ダイヤ街の完成

新

B

急速的軍備大擴張に着手 東に西南軍事會議を召集す を實行する事となり十五日 事となつたが會議の名稱は對

中でしめ既に編建省南部には ・ ではしめ既に編建省南部には ・ では、 ・ でいる。 ・ でいる。

極東司令官罷免說

實現せば日ツ關係緩和せん

を観察した後へルビン、黒河間検拶を述べた同武官は新京に変刈大使を訪ける。

お歴々

今夜着京

一先つ哈爾賓へ

菱刈大使を訪問

滿鮮衛生工業

業界の

緩和されるものと親られて居 に於ける日y間の空氣は頓に が、彼の失脚により極東方面

方面に向ふ豫定である

等西南側首脳部は此の形勢の

共に一面西南軍備の充實「達した鼻報に依ればソ聯極東の結果一面緩和策を購ず」 【チチハル図通】本日某所に

伊太利記者卜

開に達した確報に依れば四月の指揮する○○歐は永豐鎖の で指揮する○○歐は永豐鎖の を民團員四十名を道案内とし で構河鎖にばん居する約一千

三十分吉林から來京、永樂町 先づハルピンに赴く、十六日 京在住會員の歡迎宴に臨み翌行二十五名は十三日午後九時 日午前八時三十分新京競、一 同夜は衛生工業協會およひ新務鮓衡生工業調査會視察園一 太陽ホテルに落着さ、翌十四 午後三時二十五分再ひ來京、

講演會も開かる

謝外相訪問

日好戰將軍

總務部新京在勤運轉手を 新京地方事務所運轉手

れてゐだが、十一日當地某機 は今日まで傳へられた如き放冬數の死傷を出した旨傳へら 四名負傷した、而して移民地襲撃を受け疑躙され移民團に 曹長及移民團員一名職死、兵曹長の大人横山中尉、西郷 微酸の後これを撃退したがこ しつルビン國通」 佳木斯の第 微酸の後これを撃退したがこ

我方も横山中尉以下死傷

紅槍會を襲撃 二回に亘り 上、勝美兩縣

移民地は無事なる事判明したが移民地附近は今尚約二千のが移民地附近は今尚約二千の 激戦の後これを撃 務指導官は之が

三日に再度約一千の紅槍會は 火、惨殺等の 移民地に襲來し危

てゐる

事實なく只五月 ところは人口戸敷などが三倍があり、これによると甚しい 命じて聚落調査を行つてゐる區、村は更にこれを部落長に が今日まで既に四十縣の報告

も三倍も現在のものとちが

部落の分布狀況もかなりち 實際に知ることができるものが完成の瞻は滿洲國の國勢を この聚落調査

▲八並次官(司法省)十二日 午後三時二十五分米京同日 午後四時三十分該南行 十三日午前九時發南行 十三日午前九時發南行 4 マスト中佐(駐日佛國大使 館附武官)十三日午前八時 三十分發哈市へ 三十分發哈市へ 似つてゐた。

となら、飛客を無理に、外へ押した、あんたが損だから――」は、あんたが損だから――」

のなた方は、どうぞ彼方へ―― は佛一君に、少し言ふことがあり 「大概にしたらどうだ。熱拗くす

歌はもう二度と手出しをする真気 歌はもう二度と手出しをする真気 歌はもう二度と手出しをする真気 は無い 邦彦が時間、手をもつてそれを

生命線 日滿悲曲 を行

石鹼は

かいつて行きさらな機能で、概念の (百六十九) なんとなく、恐ろしくなって来た (荒國 川 左 万 差 章 章

サラリ を ちっと

ごしく

の間を摺り抜けるやうにして、 然、他一の獣に立ち繋がつた。 伸一は、それに減へられたやう それとみて飛むは、夫人と棺と 味覺で立つ=

つた眼鏡が、わづかに鼻の先に見るになったい。

からつて居るのを、勝け直さらと

唸を生じて大評判 ● 御壽司仕出し 三笠町ニ丁目

電話二九四二番

食道樂

シ今後當店トハ何等關係無之候ニ付御諒知相成度廣告候右之者不都合ノ行爲有リタルヲ以テ本月十日限リ解層致 元店員 野瀬良太郎 當三十九年

五月十



十月五年九和昭

(=)

あ

これ等 がある がある 有二、三の関体の服會 発定圏体が二十七関あ

優良見に 記。

語響所で低級の優良兒、及び は見見候補兒に賞狀並ひこ。 品を授與する 賞狀賞品 授與

岬前で結婚式

さて

も芽出度い話

沼田参謀も親代りて

ェ(ニー)嬢は現在第○○圏中央事務局勤務、妹力久マサ

用嶺除隊兵 十四日

十四日午前十一時から西公園 直をモット 年後一時からは七隻のボート 用厚く前途 と、なほ昨年のボート開きが行れる し一見頑固

あすボート開き

★新京設電所内藤本嶽見氏は十二日午前十一時二十分ご

を を 変数見送人の 歌呼に送られ、 を 変数見送人の 歌呼に送られ、 を 変数見送人の 歌呼に送られ、 支店長日く『金物商の失敗は一裏の様であるが土建金物石井との様であるが土建金物石井

金一圓二十

難・居のた 財布一個在中現

京護領事館検事局に送致した時一件書類とゝもに身柄を新時一件書類とゝもに身柄を新

臨

時

休業廣

告

ロハ順)

日本書展

炭礦會社張宴

四 写宴を催す 日本後六時半ヤマトホテルに 日本後六時半ヤマトホテルに 日本後六時半ヤマトホテルに

同様で別に高値なられてある 日厚く前途期待せられてある 日の見頭固の如きも却つて信 は、これで別に高値なられど質 採算外の安寶に依る』と断言 ▲老松町二丁目五番地渡邊⇒ 十圃を十二日午前九時ごろ 入船町二丁目で窃取された 一個在中現金三十圓を投 であった。 一個在中現金三十圓を投 き取られた

けふから始まる

團行銀合組京新

田中尉引率の下に十三日 取引も多く評判もよい首都新に直り全端各地に轉戦 一切揃って正確な品物、敏速十に亘り全端各地に轉戦 一切揃って正確な品物、敏速十に亘り全端各地に轉戦 一切揃って正確な品物、敏速十に亘り全端各地に轉戦 一切揃って正確な品物、敏速 一切揃って正確な品物、敏速 土建金物好評 日本野引率の下に十三日 取引も多く評判もよい首都新

新築貨事務所

新京土地建物會社

お断り

『落しもの』は落し主からそ の名を競表せぬやう希望ある 冒電局の注意あり爾後掲載を

(三七)氏と結婚、式は十四 関ー常盤町三丁目十一號力久 球お摘ひで同じ日の同時刻に 球お摘ひで同じ日の同時刻に 下吉氏宅では二女三女のご姉 同四丁目十四番地奥勝久、 で記していると、お姉さ では二女三女のご姉 同世の一日十四番地奥勝久、

刑田中佐が立ち式はお姉さん 気と、媒酌は前記神田氏で、 大と、媒酌は前記神田氏で、

は福田中尉引率の下に正り会補別除隊で

國体育協會主事で滿洲協和會

新郎は満洲

榮轉するので赴任

擧げたいとの肝

「築擴張計畫

中央通りと祝町へ二百四十坪

公衆溜も新に作る

牙郵便局

反愛セー

殆ど賣切れる

友の會では大喜び

れ城内西四馬路南又七〇四八)はを負した内線の夫和歌山縣住ち 東洋美術協會主催/現代名流 日本書展覽會は地方事務所社 自保養援、市内名士多數費助 のもとに、いよいよ十三日か ら中央通本城ビル東亜産業協 會事務所で開かれたが帝展、 院展、その他獨立大家などの 出品、總數五百余點で第一日 は足刻早くも觀覽者多数詰め かけ大いに賑つた、なほ十四 五兩日も引續き行はれるはず で、入場無料、多數一般の入

比支蹴球戰で 兩選手摑合ひ 比島選手八名負傷

日本橋通日本橋詰

京 新京百貨店事務所

任畿六十五圓鷹募者は事實履歷書持参五月十八日午前中來十歳迄妻帶者たること市内に確實なる保證人二名を要す初中等學校卒業程度にして簿記を解する者年齡四十歲より五

事務員募集

養馬會事務員 男子田給闕幣二圓二十銭 御希望の方は午前中来談ありたし右募集す 新京富士町五丁目六 新京富士町五丁目六

男女事務員募集

父 山本麻満後 豫而病氣入院 中前二時遂に永眠致候間此段以紙上不敢取謹告仕候 上不敢取謹告仕候 上不敢取謹告仕候

昭和九年

五月十三日 愛總 友 總 親 媛縣 人代 人 代族 松 田灰水師梶 益 助茂貞武茂 太 太 太 郎 郎直郎雄彌滿

常無理があるのでこの際満電 であるも話は漸次進んである 旅館のわりあて、市 合計三十錢毎月納めると 軍司令官

の建物ではこの

進展に伴ひ 昭和十年度

である

京

まづ不夜城

の計畵

ダイヤ街や東一條も同様

大類がよくて八百餘割の家庭 * 人類がよくて八百餘りの洗濯袋(* 人類がよくて八百餘割の家庭 * 人類がよくて八百餘割の家庭 * 人類がよくて八百餘別の洗濯袋(* 大類がよくて八百餘別である。

| 東|| 東よりしばしば

それに耐趣すべ

セール』を開いたが意外にも「の讀者會を兼ねて發會式を學去る六日説町太子堂で『友愛』月二十五日に難誌「主婦の友」既報、「友の會」新京支部は本年二

一夏中には實現

日

案内に轉手こ舞ひしてゐる ローの如きは臨時案 けば結構です、別に利益と のを一般のお方に喜んで頂 のな方に喜んで頂

聞

てゐる模様で、滿電側の讓

満電側の譲歩

来る六月三日、西公園グラウンドで開催される新京滿銭大七日午後二時から聯合委員會を開く、當日は各係委員(全を開く、當日は各係委員(全をでので百三十二名)列席、額合

滿鐵運動會

準備の打合せ

漏なきを期してゐる、

つて旅客サー

にすべきであらうといふれだけ少からしめ、寧ろ皆無が負擔し、受益者の負擔をそ

中には着手される段取であるに至つたので、いづれ近とるに至ったので、いづれ近と

三日午後一時から闢東憲兵司闘東軍々司令官菱刈大將は十 令部並に新京憲兵隊本部、 憲兵隊檢閱 構内の隨時檢

要求も許可 製製で 関連の 関連 要親されて 要親されて

人の山、旗の山、旗の山

一、室町校保護者總會 十四日 一、室町校保護者總會 十四日

庭球シングル

3

の催し

一、西公園ボート開き 十四一、西公園ボート開き 十四

初夏は西公園から

山田

四四三

ウウインド装飾競技第一日、満電主催、市内商店ショ

解

廣

交員

限り藤

解雇致候間自今當店

午後一時から

|緩和||あられ

るに至るで

を通不便の現地にあり、また 接會、ひとの道教園の大運動 の野遊運動會を始め、編昌公 の野遊運動會を始め、編昌公 の野遊運動會を始め、編昌公 の野遊運動會を始め、編昌公

食膳を賑はす物

地場もの、出るのは月末

「マニラ十二日發國通」日本 鳥のサーブで開始、第一ゲー 大いで二回酸に入るや日本調 ・ 大が一大で第二セットは逆 に日本がリードしセットは逆 ルとなる、而して、第三第四 ・ セットは比島側断然優勢を示 し結局日比排球試合は左のス

れは青物

野代の内線の夫 送局さる 後局さる

出た、出た、人が、けふの西公 紅白の幕、萬國旗を張り廻し出た、出た、人が、けふの西公 ショードは廻り、オルガンの園は人形箱でもひつくりかへ ショードは廻り、オルガンの園は人形箱でもひつくりかへ ショードは廻り、オルガンの園は人形箱でもひつくりかへ ショードは廻り、オルガンの 四十分邱飛海のサーブで開始のシングルスに依り午後三時のシングルスに依り午後三時のシングルスに依り午後三時のからのからのからので山田勝つ 佐藤斷然壓倒し

日比排球戦 佐藤 六六六 〇四〇 邱 飛 海

日本慘敗 右の者今般都合に依り いか 交外 交外 変 で御一報被下い れも ばの

四月七日 加

直あり

を出來得れば望む御希望の方は履歴書送附齢四十歳より五十五歳迄恩給あり達筆の方會計帳簿記帳に經驗ある者至急一名入用年 又は本人來談あれ

行本 話 四

日、比排球戰續き

六

感、廣春洋行、佐藤吳服店、柳田間商會、篠田吳服店、柳田

日の出

益を 店は林洋

來京團体の

日新京に押しかけてゐるがその最近の鴻蒙視察旅行團は連ジーズンの最高調を示してゐ

サービ

スに忙しい新京驛

そそつてる

もこの季節に

の大半は

|新京||に一泊あるひは

との店が入賞するか、また一 どの店が入賞するか、また一 どの店が入賞するか、また一

てる

午後九時で

ますから精々利用されたいもの有効、本紙の投票用紙は

店頭裝飾競技 人選豫想投票は十七日限り

明日から

氏音心の脚瞰である。とんな雌で として、駅

打てない。そとに服動の報います。 他立に解散者の手郎、駅中な手は たり刻く書談の解析といへそう。 は国に職散者の手郎、駅中な手は

悪して此の結果はどうなるか、

五安語

C六四

へほにはる

の七二

人揃ひで、大に氣を吐い一次作集」の特輯も、神田の山、一龍齊貞玉の特輯も、神田の山、一龍齊貞玉の特質を

北岸圖製版所

9

長

新

京

K

\$

東氣分の…

よ日八十月五〇

春

度お越しを願ひます

三笠町

Ξ

O#

5

A

十十十十十 六五四三二 日日日日日

五日間

動品

OG

御聞作様に相品進品に

帯より

專化小 門莊間 店品物

香

奉任品

五時三〇分

三方目 大 社

語言の穴番

3

氏名

限

松

締切五月十七日午後九時

特本

選社

名

局

(+=

午前一一時四〇八

●買高

入價

新京東二條通出五 衛衛屋質店

東二條通廿一

締切五月十七日午後九時

處方箋眼鏡謹製

電氣冷藏機機械工具

鐵鋼瓦斯管

作しきや 電話!!大!!〇番

郎鴉

新

後京

想投票用紙

病 果藤販賣開始 東京 朝日新聞 前日社 明日社 明日社 明日計聞

邦男演

3

氏名

限

K

三等

2 席 1席

效無票投の外紙用

7

券

會

今般左記に移轉仕候

移

轉

廣告

移轉先(新京三笠町三丁目廿五博多屋横)

電話四七五二番

行

市券 一圓七十錢

席

日静融和らす

接滿鐵社會課

長

互先先番

16 次 17

18

四時三〇分

苗九七二二話意

近松 里子、村田知葉子 佐藤 圓治、大崎 史郎 紅兒、山本 多郷

K

三等

2 席

席

開

F

紀念

11C 2- 2 24

南

京

ILA

香丁厂

票

1席

效無票投の外紙用

二等

1席

店門

滿鐵醫院知識醫院

報及型錄呈上

座銀京新

店鏡眼金原

番二九二三品電

會合社名

新京日本橋通八二

原田組出張所

2席

一等

四時四〇分

5 でもよいが、夏は午前十時頃適當な時間は、春と秋は日中 最 日二回大人に H 光浴

0

四日 朝入京する

くない光線に當てますと午後四時頃が適當で余り强

6

大和通り四十 大和通り四十 大和通り四十 表演的好

●所浴氣蒸泉鑛の一唯京新●

體護店

ン七段目 香島 愛子 香住 久子

同夜長春座で

学服職工募集 一、技術優秀ナル者 一、技術優秀ナル者 一、技術優秀ナル者 一、大学職・一、大学の 一、本人来談ノ事 を 盛 洋 行 を 盛 洋 行 を 盛 洋 行

をつせてをつせて

を始めとし、永井拓相作歌、 を始めとし、永井拓相作歌、 子女史舞踊振付のレヴュー日 本建設八景曝笑哄笑を誘ふ歌 本建設八景曝笑哄笑を誘ふ歌 本建設八景曝笑哄笑を誘ふ歌 本地ンスレヴューモダン安兵衛 でストン

男女員多數**御** 話三二六六番

本橋通中家內一陽堂 んま

程五十年祭の大宗教行列をマ教區内の神父の一團は此っ、教匠内の神父の一團は此の一個は此

の禁ずることとなつたした為め此の種行列はした為め此の種行列は

姓名在社

業

活人劍

票 -人

二等

1席

2 席

一等

畵

二大巨人が 特代であり、 加入が

十一日は二日間本の特別豪華番組工中貞雄作品

レヴュウ界末曾

新 豫想投票 川紙京店頭裝飾競技會

開下を始め多数貴 編紳士方の御愛浴を厚ふして居ります分初回は無料でず遠慮なく御試し下さい

電話二四六二番

は履歴書携帯本人來談あれ 經験の有無を問はず希望者

員招聘

新京梅ヶ枝町三丁目一〇

帝國生命新京出張所

新京祝町三丁目十三番地南廣場朝鮮銀行裏門前一回溫浴時間 約三十分 日日開浴時間 自午前十時午後 新京鑛泉蒸氣洛所 自午前十時午後十一時

後溫泉浴ヲ必要トスル諸病 助膜災、氣管支炎、肺尖カタル、其ノ他産後及大施術 艮、マラリヤ、腎臓病、線病及發育不良、不感症喘息、 弱 腸胃カタル胃擴張、糖尿病胃潰腸、關節炎、消化不 弱 腸胃カタル胃擴張、糖尿病胃潰腸、關節炎、消化不 流行寒冒、リウマチス、神經痛 肩ノこり、脊髓病、胃 動脈硬化症、寝小便 淋症 不眠症、月經不順、尿導症 懐性胃腸病、婦人病及不妊症 便秘 皮膚病一切 中風

判斷が付きます流行性感胃や壕小便はほんの數回て中風、不眠症等の御方は一日も早く一回の御試験で神經衰弱。わきが、不姙症、婦人病、淋疾、胃腸、便秘、 懲ります一回の溫浴溫泉卅回に優る

絶大なる好評を博して居る以所であります 特許第二〇九五號「特許鑛泉蒸氣浴」全身療法が 膝にする事が肝要でせり此の自癒力を旺盛にす とせば何人と雖も自己の體内にある律大なる自

人生の最大

急告

國体人員は二十名以上の事 体申込みは前日の興業中 演藝毎日替り 夜 五時半

初日五時半 塲 開

T

美爪術 和洋髮 美顏術

か玉 洋 日本 医青木 を 要 産 刈 本店 を 定繁峰

非常時回承に棒ぐ

定繁峰 子子子 日本髪 洋 髮 宮崎 支店 害崎 鶴枝 子

□どうぞよろし

の代

黑猫美粧院 支店永樂町一丁目九

本店東一條通一三

方元

十五日

十四日

増員陣容も整ひました 是非御來店の程を!!

点がありましたが今回本支 支店 共復水手不足の爲サービス に遺憾の

從來手不足の爲サ

まあいゆつくりい

やすんでお

ヤ六の言葉に、大吉、ほんのり

中六さんの耳にいれてをい

たら

ずといふわけなのさ

「時間へも、行げ、

酒ものめ

陸海軍試驗問題答案集

作別は促進され、食

た。少なはその後、全く下馬を作品は促血され、食欲も開復した。少なはその後、全く下馬を

ので、数はないで、下でる人

に関いる。 を変がした。 を変がいる。 をでいる。 をでい

がいたがいたが野子。 「他なければならぬ手質を がいたが野子。 でしなければならぬ手質を

醫者の來る迄

上の方に洩なく進星

栗店にて五月

與兵衛は、先夜、ここの題覧

だが、何か、

… あつたのですか

東京下谷入谷百十 遊信識習會

てなに、なにもあった調方やね

伊豆臓の主人與兵衛は、笑顧を

かない部代きをしてみなさるやう

Í

大吉。――は鯉、女されもして

女に殿の深い役者を認とはいへ

伽殿女中

は終に福利多大なる日

十月五月四月

京九月武

の家へまありました。 今夜は、ちょうと、あふことがか 遊びに乗るやうにことづけておく におあびさいさんしたら、今夜 といつて、大吉は、離を急がし も明日の物でも、ちよつと、 一葉知いたしました。… 甲と申と丑が古 ●二黒の人 選氣優勢にて目 の意に從はて咎を免るべし アと甲と辛が吉 丁と申と辛が吉 帰四線の人

恐怖心は中え失せて、この事ではてあたものが、度温なるにつれ、

始めは、こはくながら、通つ

ちらは、出島大吉の

四五

行友李風

たい、快歌、惚歌

の腐骸電に

と、戦内をごふと、中六の女房 一中六さんは、お出でござんせ が高いの人 と外らさず愛 が古の人 とのと出が古 と可と出が古 巴と丁と庚が吉 一次白の人 家道大に治り業 務も榮ふべき日益奮勵せよ 乙と巳と寅が吉 こと日と寅が吉 入白の人 融和圓滿の日起 りて温順なれば意信益加る 立黄の人 心の角を取り去 円線の人。衰運の甚大なる

福具は耐酸酸素さる、 一種の大学を開いて、 一種の大学を開いて、 一種の大学を開いて、 一年を設定者を出いて、 一年を表現で合格 を見いて、 一年を表現で合格 を見いて、 一年を表現である。 一年を表現である。 一年を表現での表現である。 一年を表現である。 一を表現である。 一を表現である。 一を表現である。 一を表現である。 一を表現である。 一を表現である。 一を表現である。 一を表現でする。 一をまる。 一をまる。

3九紫の人 物事手違を生じ 以申と庚と亥が吉 算術學上這 東洋鐵消學曾

くれやれ |

一部ひなことに、

かつとな

一年六さんは

おい

おや、大古さんですかい。

不児時代の 微新戦術・ツロバン 大児時代の 微新戦術・ツロバン

圣大阪商品出意

中の大切な成分ですが、さらかとるのに、無くてはならない消化液 **歴報は勿論、胃が食物を消化する気めに思ります。**

と、胃糖でで、自分で分泌した腰膜があってこれが容腹時にものべつ分泌されたり、たとへ食物が入ってからでも、無臓に多く分泌される 間アトニーの病理と、質問でが強した験院では、質問で、さらした容があるのです。 下刺と便秘を知らないだは、先 見驚難ひの手驚をして、彼らに親 でそれが起るかといふ事まで知つ があるがは少い様です。其ために があるがは少い様です。其ために があるがは少い様です。其ために があるがは少い様です。其ために があるがは少い様です。其ために があるがは少い様です。其ために があるがは少い様です。其ために があるがはかいない。

算速成講習會

観を一掃する法権を治

その運動、つまり潜化液と共同して食物を潜化したり、潜化したり、潜化した食物を潜化したり、潜化した食物を潜化したり、潜化した食物を防の方へ送つたりする特前の動きが、充分に出來なくなつた病がない、ゲッブが出る、智能へができた。 で食物を消化したり、消化した食物を消化したり、消化化した食物を消化を共同しての運動、つまり消化液と共同しての運動、つまり消化液と共同しての運動、つまり消化液と共同して、 11 4m をなさる前に、先づ 気を長びかせる方がありますから をなさる前に、先づ

專屬荷扱所 全地國際運輸會社支店 大阪商船株式會社 大阪商船株式會社 大阪商船株式會社 本京出張所電話四一三七番 本京出張所電話四一三七番

つて行く内、更にな分が吸收され、 て次館に震摩となつたのが健康な かます。 だから復通は一定の優さで、毎年れが下痢したり信頼したりすが、 それが下痢したり信頼したりすが、 もれが下痢したりに異常があるも に確り弱くなります。だから され、悪験のために色々 にをいる。だから 分泌 大便の水分が全く ででは、大便の水分が全く でででは、下

曜

(日

ひとねいりしてある中に、日がとを持の中から出て、例の鬼座野で

野草の輪をつくつてゐる。

「野六さん、

大計さんか、

いつい

話へる所です。

を確つてゐる様な智がす

出ると、多げの際が運ばれくれてしまる。

節んなすった・・

野すぎに、伊豆酸に配りついた

では、また、明晩まあります

ゆつくりだったの

一へえ

角男には、生れた

Ball Hard

İ

山崎愛國堂

獻文外海

下痢、食慾不振を恢復すーフエは腸を强め

ヴアラグツサ博士

「かっかっ

-こんどは、大分

そのときは、また、よろしく

月)

たのが、今の坊主小兵衛が揺はれれて、大奥から帰ってまるりまし

茶の宝へ踊ると、中六-

いいいいというしてあるのが、暗場びたりしてあるのが

が寄生し歌歌を観点 筋の野福や見

い間りか、特に事酸過多様からは手酸を離れば最低に取って治らな手酸を離れば最低に取って治らな

でなければならぬには下綱止、便秘の手営といへ とも悪かに恢復して来ます。 「経験わかもと」は東京を公園大 一七〇〇都)から廿五日分一園六 儿豐



症狀は違ふが病理は同一痢と便秘は 便秘 どつち

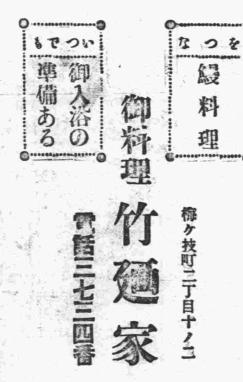
病原療法の應用

た爲めに、

快便 ある標になるので 毎日規則正しく













だから胃酸過多症の人が「能熱性しめる効果もあるのです。

たる實際職野を活象づけ、異常を 等の貴重成分の場合に依つて解説 和する作用の外にも、

だった。 を対するがイタミン のでない、 のは、 のが記め が見め のは、 のが記め 大阪に関資がよくなります。 てるますと変せて ら「蘇刺わかもと」を服用させ 気が含まれてゐるので、 機 從のて消化が

用で、問題の働きが心から語は を解いて服ませると、野家の作 を解いて服ませると、野家の作

が其葉で、芝には配料場所の膨緩が、